

主な行動報告 & 予定

4月

中止、延期行事等【小、中学校入学式・消防団入団
激励会・帷子地区青少年育成市民会議総会・帷子
地区各種団体懇親会】

第51号報告誌発送（12年間余のご愛読に感謝！）
全協（新型コロナウイルス対策・臨時議会予定）
空き家活用有志の会（マスクはしてても熱意閉ざさず）
全協（新型コロナウイルス禍総合支援対策をシッカリ）
個人要望書提出（工業団地開発事業慎重対応を・
図書貸し出しを市民にも拡充要望）
第2回臨時議会（新型コロナウイルス対策 第1弾
緊急支援4月補正予算
一般会計補正総額109億4,300万円
市基金繰り入れ4億6,150万円）

5月

中止、延期行事等【小、中学校入学式再度延期・
花いっぱい運動・議会報告会・地区センター祭り・
消防団操法大会】

全協（コロナ対策第2弾補正予算）
第3回臨時議会（プレミアム商品券発行20%還元）
全協（新型コロナウイルス感染防止施設運営等基本方針策定）
エール広陵草刈り（中学校再開に向けて汗の応援）
第4回定例議会（全小中学生にタブレットパソコン費）
全協（約5億円の蘇南中学校改修工事の詳細を示せ・
トイレ洋式化を質問）

6月

中止、延期行事等【水防訓練・地区ドッジボール大会】
小学生登校見守り再開（マスク有り、ハイタッチ無し）
広聴部会（新しい生活様式対応の広聴活動を模索）
建設市民委員会（施設条例改正質問・効果と利便性は）
エール広陵見守り隊再開（何故か懐かしさと嬉しさと）
令和さくら高等学院（ニッチ教育・工夫&熱意に敬服）
本会議（コロナ禍で補正予算第3弾6億6千万円強）

予定

第5回臨時議会開会8月6日
第6回定例議会開会8月24日

さかいまさし通信 まゆなかな



人生初の作品・織部を意識したのですが...

ご挨拶



可見市 市議会議員
さかい 正司
座右の銘 広く遠くゆくり

任の重さを学び、経済の不安定さや社会的弱者の
多さを再確認しました。
新しい生活様式の体得という宿題が出ました
が怯むことなく、新しい楽しみ方の旅へ果
敢に挑戦しましょう。医療従事者の
ご労苦に報いる意味からも。
ウイルス禍から
学ぶ
窮屈な生活を余儀なく
されていましたが、ご健
勝にてお過ごしのこと
存じます。
見えない敵から自己管理責

9月入学を考える

9月入学制移行に関しては、コロナ騒動のドサクサに乗じて問題提起されたように思われていますが、日頃の思いを発する絶好の機会が来たと思えていて、全国知事会でも話になり政府も論点整理をしました。

5月2日の小生ブログ(Step.1 www.sakai-m.org)で少し発信しましたが、将来の日本の有るべき姿に思いを寄せるチャンスでしょう。

メリットデメリットは双方に大きく例えば、メリット…休校で遅れた授業を時間をかけて取り戻せる・外国の学校に留学が容易になり、海外留学生も受け入れ易い・厳寒期の入試が無い。

デメリット…学校行事や入試、就職時期の変更で法改正が必要・移行時期に多額の費用が掛かる・最初の1年生の人数が1.4倍に増える。等々少なくともこの問題を扱うには相当の信念とエネルギーがいります。拙速ではなく巧遅に事を運ぶべきですが、もし、コロナウイルス感染の第2、3波が大きければ早急に取り組む課題として十分な準備をしておくべきでしょう。将来を担う子供達に負担と不安を与えないためにも。

9月入学制度と直接の関係はありませんが、県下の中学校卒業生向けの冊子※「ひとりだち」(写真)が有ります。

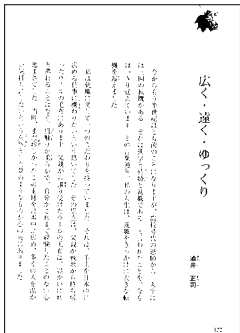
岐阜県小中学校校長会編で各界20余名の方々から、副題の「かけがえのないあなたへ」熱いメッセージが満載です。是非全員に読んで欲しい本です。

私も海外にも目を向けられる、広い視野を持つ人間に育って欲しいとの思いで一文を寄せました。起稿したのはコロナ騒動のかなり前で、内容は過去に何回か中学校で講演した内容の一部です。

※4年毎にリニューアルし、今回の号は来春から4年間用です。自治体や学校単位で一括購入して配る所がありますが、個人の注文によるところもあります。定価税込み520円です。



冊子「ひとりだち」の表紙



小生記事のタイトル

●ロハス(LOHAS)の窓●

レジ袋有料化

7月からレジ袋が有料化されました。スーパーマーケット等では籠やマイバック持参が習慣化したようですが、コンビニやホームセンターではあまり見かけません。ロハスに賛同し、マイバック携帯が「新生活様式」として定着して欲しいものです。



少々くたびれたマイバック 畳むと右上の小袋に収まる

知って得するマメ知識 <vol.49>

ひつじの毛のお話し



ストレス対策

外出自粛、テレワーク等ストレスの溜まりやすい生活が続きました。身の周りには天然繊維と科学繊維があります。人間により優しいのは天然繊維であり、更にヒトには同じ構成物質の動物繊維が最もストレスなく接することができます。ウールは赤ちゃんの成育には最適で、ストレスを減らし体重増加や夜泣きの減少に有効である事実を証明しています。(まめなかな2号参照)新生活様式で衣類や寝具を見直しませんか。

繰り言

9月入学問題をやり過ごしても、現実に実害が見えないのが残念。移行時に相当な費用発生、法改正の煩雑さを考えただけでも、コロナ禍処理のこの時期にそんな大きな問題を持ち出さないでヨ、と言うのが政治家の心情でしょう。一時的な負担と国の将来に関わる問題、即ちミクロとマクロの課題を同列に扱うべきではないと思うのですが…。失点続きの政権には「NHK大河ドラマ麒麟がくる」の、斎藤道三の「大きな国を」の気骨を学んで、コロナ禍の遺産とされてはいかが。

編集後記